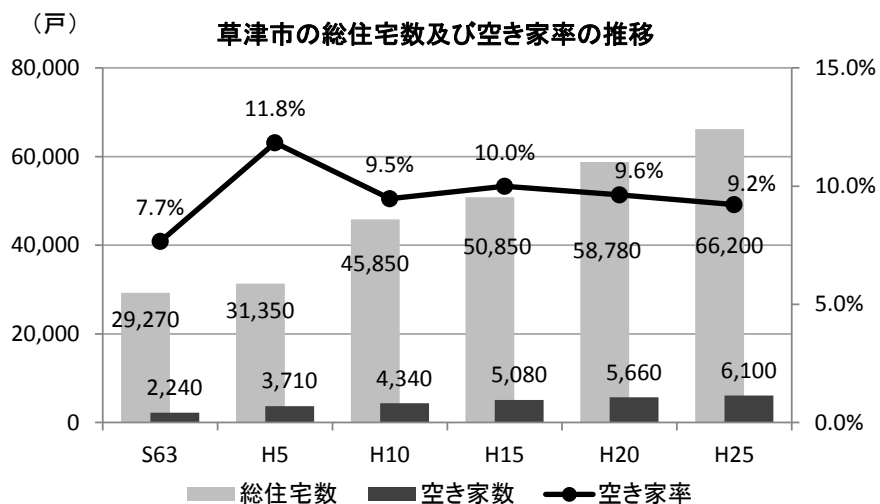
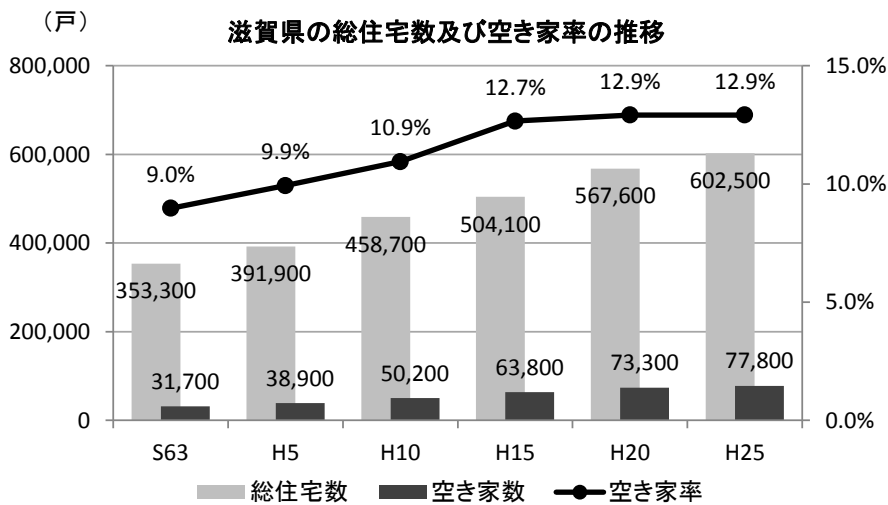
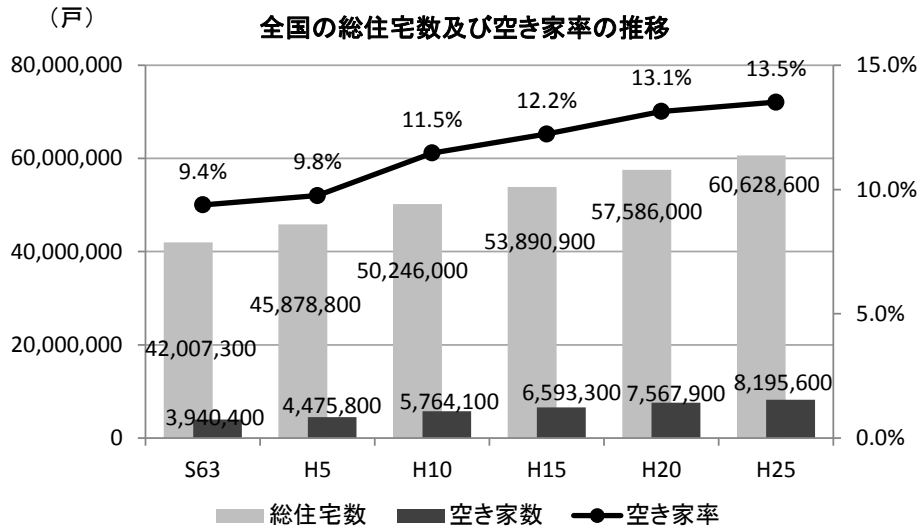


## 1 国・県・市の空き家数等の推移

全国の空き家数は年々増加しており、平成25年には約820万戸、空き家率（総住宅数に占める空き家の割合）は13.5%となっています。滋賀県全体を見ても同様の傾向にあります。草津市においては、住宅数の増加率が国・県と比べ大きいにも関わらず、空き家率は増加してならず、平成25年の空き家率は9.2%となっています。



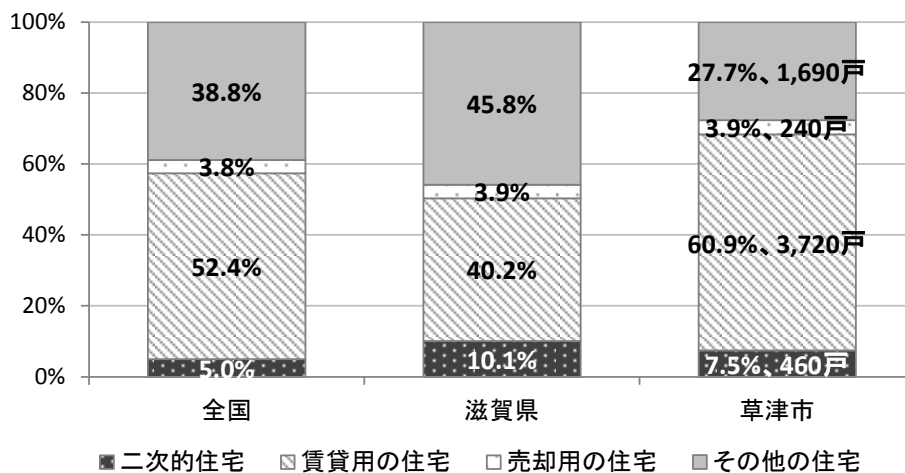
## 2 空き家の種類別状況

種類	内容
二次的住宅	週末や休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で使用される住宅で、ふだんは人が住んでいない住宅や、ふだん住んでいる住宅とは別に、残業で遅くなった時に寝泊まりするなど、たまに寝泊まりしている人がいる住宅
賃貸用の住宅	新築・中古を問わず、賃貸のために空き家になっている住宅
売却用の住宅	新築・中古を問わず、売却のために空き家になっている住宅
その他の住宅	上記以外の方が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など (注：空き家の区分の判断が困難な住宅を含む。)

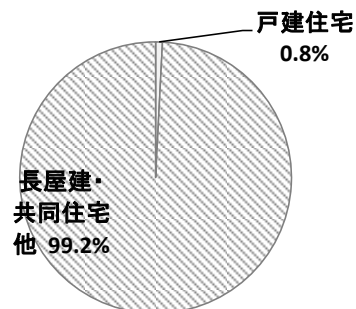
出典：「平成25年 住宅・土地統計調査」より「用語の解説」(総務省統計局)

平成 25 年度の空き家の種類別の割合を見ると、「その他の住宅」は、全国で 38.8%、滋賀県で 45.8%、草津市では 27.7% (1,690 戸) であり、「その他の住宅」に区分される空き家の割合が少なくなっています。草津市の「その他の住宅」の建て方別の内訳を見ると、戸建住宅が 66.7%と過半数を占めており、一方「賃貸用の住宅」では、戸建住宅は 0.8%で、長屋や共同住宅等が 99.2%を占めています。

空き家の種類別・建て方別割合



賃貸用の住宅



その他の住宅

